

認定NPO法人誕生

伊東で初

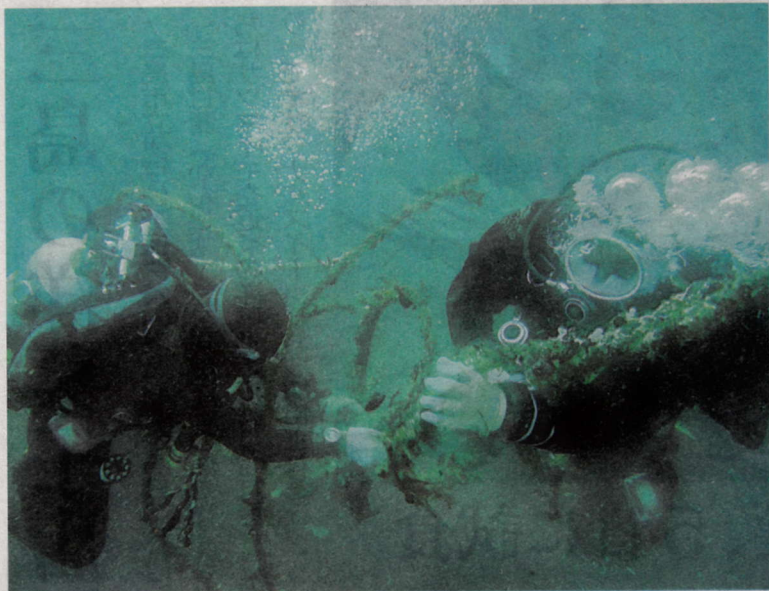
被災地で海底清掃や救助支援に取り組み、伊東市のNPO法人「アンダーウォーター スキルアップアカデミー」(村田清臣理事

被災地漁場復旧に尽力

長)がこのほど、県から同市初の認定NPO法人に認められた。村田理事長らが27日、伊東市役所に佃弘巳市長を訪れ、「よりの層の活動の充実を図りたい」と抱負を語った。

同法人は2009年、伊豆半島近海での行方不明者や事故車両の探索、引き上げなど、を目的に設立。ダイバ取り組んできた。漁場の復旧作業などに11年5月から計12回現地入りし、ダイバーたちの合計潜水回数は約670回に上るとい

る。村田理事長は「漁場の復興支援活動を継続する。被災地で積み重ねた経験を生かし、伊豆での防災対策にも力を発揮したい」と口元を引き締めた。県内に1219あるNPO法人(8月末現在)のうち、認定NPO法人になったのは同法人で5例目。



① 佃市長(右)に認定を報告する村田理事長(中央)
 ② 伊東市役所
 ③ 被災地で養殖用ロープの修復活動に取り組むダイバー
 ④ 宮城県気仙沼市(NPO法人提供)

認定NPO法人 組織運営や事業活動が適正と判断された法人。寄付者の人数や収入に占める寄付金の割合などの基準がある。都道府県と政令指定都市が認定権限を持つ。認定されると、寄付者の所得税や住民税の優遇、法人自身の税軽減などのメリットがある。